



はくさんちゅう

柏三中だより 教育目標：豊かな心をもって 自ら学び鍛える生徒

三中魂 (挑戦・忍耐・協力)

柏崎市立第三中学校 〒945-0845 柏崎市新赤坂 1-2-10

☎23-2821 E-mail: daisan@kenet.ed.jp

第 334 号

令和 7 年 1 月 29 日発行

学 校
ホー ム
ペー ジ
→



平凡を非凡に生きる

校長 須藤 泰司

巳年になりました。本年もよろしく願いいたします。静かな一年の始まりに、昨年の元旦を思い出さずにはおられません。能登半島地震が起き、新潟県も大変な揺れがありました。元旦から三中也避難所となり多くの避難者が来られ、その対応に追われました。まさに災害は、月も日時も場所も選ばないことを実感し、常にその備えをしておく必要があると、気持ちを引き締めたことを思い出します。先日、3年生が総合的な学習の時間で学んできた「防災学習」の発表会があり、その成果を発表してくれました。地域に避難所ができたときに、地域の一員である自分たちに何ができるか、避難された方々の気持ちになって考えてきました。防災学習で学んだ身を守る知識はもちろん、困っている人たちのために自分たちには何ができるか、と考えた経験は、きっとこれからの生活に役立つはずだと3年生たちをたくましく思いました。被災地の方々の生活が、早く元の生活に戻ることをお祈り申し上げます。



休業明け集会では、巳年にちなみ、以下の話をしました。

「巳年は、蛇の年。蛇は脱皮をして成長していく生き物です。そのため、巳年は蛇のように古い皮を脱ぎ捨て新しい自分へと成長する**変化の年**とされています。学級は失敗をする場所、この一年もたくさん経験をしなが、一步一步新たな自分に成長していったほしいです。さて、今年のお正月は昨年とは違うお正月を味わったことでしょうか。家族とのんびり穏やかに過ごせる時間というものは、当たり前ではない、ということに気づかされたのではないのでしょうか。新年最初の言葉として、今日は『平凡を非凡に生きる』ということについて話します。昨年元旦の大地震を経験して、平凡に見える毎日は、決して当たり前ではない、非凡なことなんだ、と感じたことでしょうか。平凡である日々がいかに幸せで価値あることなのか、私たちは気づかされたのです。当たり前のようにある今に、感謝する。とても尊い生き方です。もう一つの考え方として、こうも言えるでしょう。平凡だ、と思えること。誰にでもできることを誰にも負けないくらいにやる、ということの価値。それは平凡の中にある非凡であり、そんな非凡な努力の積み重ねが、非凡な事実を創り出していくということ。平等に与えられた24時間の中で、**誰もが**できることを**誰にも**負けないくらいの努力をする。そうやってきた積み重ねが、選手として普通にめぐってくる打席（これも普通ではないと言えば普通ではないのですが）において、**非凡なる成果**を上げてきた、日米両方で野球殿堂入りしたイチロー選手を例にしてみれば理解しやすいでしょう。もちろん、誰しもがイチロー選手になれるわけではありません。しかし、誰でもできることを誰にも負けないくらいにやることで、非凡なる事実が積みあがっていきます。その非凡なる事実が非凡なる未来につながっていく、私はそう思うのです。皆さんも、**当たり前**のことを、**誰にも**負けないくらいにやってみて欲しい。あいさつであれ、清掃であれ、平凡なことを非凡なるまでにやることが、自分自身の未来を変えていくことになる、変化の年といわれる巳年の最初の話とします。」

年末の12/25に、各学校の来年度の生徒会役員が一堂に会して生徒会交歓会が行われました。生徒会役員として、令和7年度の学校創りに向けての抱負を語り合ったり、リーダーとしての考え方に触れあったりしながら、生徒会運営について考えをを広げ深めました。今回、市の都市整備部からの依頼があり、旧市役所跡に建設予定の柏崎セントラルガーデン（仮称）をたくさんの市民が集う場所にするために、中学生のアイデアを聞きたいということでグループディスカッションを持つことになりました。街づくりに自分たちの意見が反映されるかも知れないと、リーダーたちは中学生ながらそれぞれいろんな視点から、市民が来なくなる提案を持ち寄りました。子育ての視点、ご老人の視点、資源の活用など様々な視点で、そして中学生らしい発想を出し合っていた姿はとても頼もしかったです。活発な議論を見ていて、「**このような実社会の具体的な課題こそ、主体的で対話的で深い学びを生み出すことができる**」と、うれしく思いました。議論の考察には、データを読み取る力が必要です。柏崎の地理的・歴史的知識が不可欠です。少子高齢化の問題は大きな社会課題ですが、当事者である中学生が真剣に考えることは、とても大切なことだと思います。



自分の空いた時間で自由にアルバイトができないか、という発想から生まれたアプリ「Timee(タイミー)」。

その社長は現在27歳。大学生だった20歳の時に、Timeeを起業しています。わずか7年で東証グロース市場に上場した1300億円の資産価値のあるユニコーン企業に成長しました。その小川 嶺社長も、最初の起業は失敗し、30万円の借金を抱えたと言います。成功は年齢ではない、そして、成功者は失敗から学んでいるということに、中学生も勇気と希望を持ってほしいと思います。大切なことは、世の中を変えたいというアイデアと挑戦する勇気。まず、世の中のことを学ぶことがその大きな一歩と私は思います。

鳴海会 新リーダー決定!

来年度の鳴海会（生徒会）活動の中心となるリーダーが決まりました。選挙で選ばれた会長・副会長・応援団長が決定し、面接等を経て生徒会本部役員・委員長・副委員長が委嘱されました。1月14日の生徒朝会で委嘱式を行い、決意を新たにしていました。現在、研修などにより、さらにリーダーとしての自覚を高めています。

リーダーを中心に全校生徒で協力し合い、さらにより良い三中を創り上げてほしいと思います。

【生徒会本部】中根 阿部 近藤 イ 高橋

	議 長	学習委員会	広報委員会	保健委員会	給食委員会	福祉委員会	体育委員会	応援団(副)
長	五十嵐	市川	佐藤	大矢	木村	内山	藍澤	關矢
副	中村	山浦	新堂	松木	吉田	土田	小俣	太刀川



今月の三中

<修学旅行に向けて>

1月16日に2年生を対象に、公益財団法人広島平和文化センターから山口恵司様をお招きし、「被爆体験伝承講演」を行いました。広島の見聞してきた壮絶な体験をもとに、平和の重要性についてお話いただきました。生徒は熱心にメモを取りながら真剣な表情で聞いていました。

生徒からは、「日本の技術が原爆に使われていたことがわかり、とても悲しく、悔しかったです」「目の前に生きている人がいるのに助けられない人がいる苦しみ」が心に刺さりました」など山口様の思いをしっかりと受け止めた感想が多く聞かれました。2月13日からの修学旅行では、さらに学びを深めることを期待しています。



<受験シーズン到来>

1月21日の私立高校を皮切りに、高校入試がスタートしました。1月末には特別支援学校、2月には私立高校の一般併願、3月には公立高校の試験が続いていきます。3学年廊下の掲示板には「自信をもって最後まで全力で!」という学年主任からのメッセージが書かれています。

体調に気を付けて、自分の力を出し切り、全員で希望の進路へ進んでほしいです。



<ようこそ三中へ>

1月24日に新入学予定児童と保護者を対象に、新入生体験入学・入学説明会を行いました。1学年委員に元気なあいさつで迎えられた後、体育館・音楽室・理科室で体験授業を行いました。その後、多目的室に移動して、新生徒会本部からクイズ形式で三中の説明を受けました。真剣な雰囲気の中にも笑顔が溢れる、実りの多い会になりました。

保護者の皆様は、武道場で入学説明会、PTA役員選出を行いました。



=これからの予定=

< 2月 >			2 5日(火)	同窓会入会式	
3日(月)	マインドチェック 三中杯		2 7日(木)	代議員会	
4日(火)	生徒朝会		< 3月 >		
6日(木)	生徒総会 鳴海会(3年生最終)		3日(月)	マインドチェック	
7日(金)	P T A 常任委員会・引継ぎ会		4日(火)	生徒朝会	
	3年生感謝旬間(～3/6)		5日(水)	公立高校一般入試 1、2年学習の確認	
1 0日(月)	代議員会 学校運営協議会		6日(水)	卒業式予行練習	
1 1日(火)	柏崎市スポーツ協会優秀体育人表彰		7日(金)	卒業証書授与式	
1 2日(水)	1年ダンス教室		1 2日(水)	奨学会役員会・評議員会	
1 3日(木)	2年修学旅行(広島・京都～15日)		1 3日(木)	公立高校合格発表	
1 7日(月)	2年振替休業日		2 4日(月)	後期終業式	
1 8日(火)	全校朝会 EnglishDay		2 5日(火)	離任式 春季休業(～4/6)	

学校生活アンケート

7月に続き、12月にも保護者の皆様、全校生徒に実施しました「学校生活に関するアンケート」へのご協力ありがとうございました。結果とまとめ、自由記述に関する回答等を掲載します。

※数値は肯定的評価 生徒回答は「思う」を省略

			生徒		保護者	
		質問項目	前期	後期	前期	後期
1	知	学習3原則（タイム着席、忘れ物、私語）を常に心掛けて授業を受けている。	90.1	90.8		
2	知	終学活でフォーサイトを使って自主学習の計画を立て、毎日取り組んでいる。	68.2	71.9		
3	知	スタディプラン(家庭学習時間1年生70分、2年生80分、3年生90分)を意識して、家庭学習に取り組んでいる。	57.8	60.8	45.8	46.6
4	知	授業の課題に粘り強く取り組んでいる。	86.1	85.7		
5	知	お子さまは、学習に意欲的に取り組んでいる。	75.8	79.7	56.5	59.1
6	徳	楽しく、充実した学校生活を送ることができている。	90.6	94.5	89.7	90.2
7	徳	自ら考え、判断し、主体的に行動している。	85.2	88.5		
8	徳	様々な問題を解決していくために、多様な仲間との関わりを大切にしている。	92.4	90.3		
9	徳	良いところがあると思う。	78.9	81.1		
10	徳	他の生徒のよいところを見つけようとしている。	94.6	94.0		
11	徳	「差別しない、差別を許さない」という心が自分の中に（お子さまに）育っている。	96.9	98.2	94.4	92.7
12	徳	「いじめ」を無くそうという心が自分の中に高まっている。	95.1	98.2		
13	徳	将来の夢や目標をもっている。	71.7	68.2		
14	徳	学校行事や生徒会行事に積極的に取り組んでいる。	84.3	88.0	93.0	90.7
15	徳	ルールを守って学校生活を送っている。	95.5	96.3	93.9	93.8
16	徳	教職員は、生徒一人一人を大切に、生徒の悩みや思いを受け止めている。	93.7	94.9	92.1	91.2
17	徳	学校の教育活動を通じて、お子さまの「相手を思いやる気持ち」が育ってきていると思う。			93.0	91.2
18	徳	学校の教育活動を通じて、お子さまの「礼儀（挨拶、返事 等）や集団のきまり」が身につけてきていると思う。			93.0	92.7
19	体	積極的に運動に取り組み、健康増進に励んでいる。	84.8	85.7	79.9	75.6
20	体	食事や睡眠など生活習慣や健康管理がきちんとしてできている。	81.6	82.0	81.3	78.8
21	体	「柏崎刈羽メディア宣言」を意識し、メディアの使用を考えながら生活している。	62.8	62.7	66.8	64.8
22	他	学校のきまりは、快適な学校生活を送るために見直されている。	88.3	90.3	82.2	81.3
23	他	教材費等、学校預り金の執行計画は、保護者の過度な負担とならないようになっている。			92.5	92.2
24	他	学校は、保護者や地域と積極的に連携しようとしていると思う。			90.7	86.0
25	他	学校は、HP、各種たより等で学校の方針・活動をわかりやすく伝えていていると思う。			94.4	93.8
26	他	お子さまと将来の夢や進路などについて、会話をしようと心掛けている。			93.5	94.8

「知育」の面について

- 質問教室、昼の学習会、生徒朝会での発表等を学習委員が主体となってPRし、生徒の自主的な参加が促され、学習意欲向上につながった。
- 「粘り強く学習する」に課題がある。授業中に寝ている生徒や集中できない生徒が見られ、特に集中力や注意力を必要とする学習を避ける生徒がいる。

【対策・改善方法】

小学校から家庭学習の習慣づけができるよう、小中連携の場で小学校間の差が出ないように、また、小中で同じ指導が継続できるように共通理解し、手立てを統一する。

「徳育」の面について

- 週1回の道徳授業、感謝メッセージの共有、マインドチェックを通した聴き取り等の取組が数値の向上につながっていると考える。
- 他との関わりを求めているが、自らうまく関わるのが苦手な生徒がいる。

【対策・改善策】

生徒会、委員会活動の活性化により、縦のつながりをより強化していく。

「体育」の面について

- メディア時間について保護者の結果・生徒の結果共に数値は低いですが、実際に減らす努力をしている生徒もいる。自分時間づくりウイーク（12月）は良かった。
- 健康体力の低下、メディア時間が多い生徒がいる。

【対策・改善策】

体力的に困難な体験を全校や学年で実施。自分時間づくりウイークを年間2回実施。

「特別支援」の面について

- 子どもの困り感を聞き取り、保護者や関係機関と連絡を密にとりながら対応している。
- 授業におけるUD（ユニバーサルデザイン）が徹底が不十分。

【対策・改善策】

小中一貫でUDや合理的配慮のルールを作る。

「その他」の面について

- 教材費等、預り金に関わる保護者の肯定的評価が9割。
- 校舎の老朽化に伴う施設の修繕費、物品破棄費の増加。

【対策・改善点】

校舎・施設設備等の故障・破損等の教育委員会への報告の徹底。

保護者からのご意見（抜粋）と学校からの回答

※書いていただいた方には12月の面談時に直接回答いたしました

- ・スクールバックを廃止し、リュックを自由にしてほしい。
→安全面や機能面の観点から、スクールバックの使用を継続します。
- ・外履き、内履きともに、指定を無くして欲しい。でなければもう少し軽いものにして欲しい。
耐久性もいまいちだと感じる
→機能性、安全性、価格などの面から、総合的に判断して、体育や運動の活動にふさわしいものを指定靴としています。部活動で使うものはその種目ごとに合うものを使用しています。
- ・夏用半袖体操着は下着が透けやすいので白でなく黒が良いです。黄ばみや土汚れが落ちにくいのも気になります。
→黒は熱吸収が高く、熱中症対策の観点、清潔感の観点から白色としています。業者には透けにくい素材に変更してほしいと要望を出しています。
- ・学校だよりにより子供が頑張った成果は誤りなく載せてほしい。
→大変失礼しました。事前の確認を徹底します。
- ・登校時の夏服(体操着登校)の許可が下りるのが遅く夏休み直前まで制服登校でした。
→夏服への切り替えは5月末から衣替え移行期間を開始しています。夏服があるのでそれを着ていただけたらと思います。体操着登校は熱中症への対応であり、その恐れのある生徒に認めています。冷房が効く自動車送迎の生徒も最近とても多いため、一律ではなく、7月中旬より登校時に徒歩や自転車ですぐ汗をかく生徒については申し出れば許可としました。
- ・今年の合唱祭の形式（校歌は全員合唱のみ）は良かったと思います。3年生が後輩の良き手本となっていました。
- ・体育祭、校内駅伝など、生徒同士が応援しあう姿が素敵でした。

多くのご意見ありがとうございました。今後も、お気づきになられたことや気になることはいつでも学校までお問い合わせください。